

第16回MV勉強会 アンケート結果

Q. 山敷庸亮氏のご講演「京都大学有人宇宙学研究センターの活動」に対し、ご感想やご意見があればご記入ください。

- 非常にわかりやすく勉強になりました。現在のできること、出来ないこと、目指すべきことがよくわかりました。
- コアバイオームの概念や重要性を非常にわかりやすく伝えていただきとても参考になりました。これらを構築してテラフォームを完成させることと、火星までの移動時間を短くできる技術革新とどちらに重点をおくべき、どちらが実現性が高いのだろうかと思いながら拝聴させていただきました。
- コアバイオームという概念が新鮮で勉強になった。環境のどこにコアがあるのか考える思考実験は、宇宙だけでなく地球環境問題へのアプローチにもつながるのではと感じた。
- 火星テラフォーミングに関して今のデータでは温めるだけではほぼ不可能というのが印象的でした。
- 目標のスケールが大きく、どう取り組みに参加できるかやや乗り込みにくいと感じたが、引き続き進捗や国際的な動向は聞きたいと思った。
- 私自身が、宇宙旅行に申し込んでいる為、大変活動に興味があります。今後お話等できればと考えております。
- ミニJAXAのような活動のようなセンターに思いましたが、政府やJAXAももっと後押ししてくれるとよいのかと思いました。

Q. 遠藤雅人氏のご講演「宇宙で魚を食す - 宇宙養殖のはなし」に対し、ご感想やご意見があればご記入ください。

- 生理学・遺伝学的な解析に落ち着いてよくわかった。宇宙養殖に向けては水の確保・養分の循環再利用などがボトルネックだということが改めて認識できた。
- 非常に興味深く、魚の動画もわかりやすかったです。今後の研究にも非常に関心があります。
- ティラピアの回転運動はびっくりしました。背光反射や閾値の発見は学術的価値も非常に高いと思いますし、この点での魚種における違い、発生段階における違い等はどの程度なのかがとても気になりました。
- 動物性たんぱくの摂取には、ほ乳類より魚類の可能性を感じた。0.2Gくらいでも飼育できそうな気がします。
- 魚の成長能力より姿勢制御能力の方が重要との指摘は目から鱗でした。確かに、酔って餌を食べられなければどうしようもないですね。
- ナマズや肺魚はどうなんですかね。陸上でも動けるなら、運動能力が高い気がします。
- 循環型の養殖システムについて、物質収支などが知ることができ有益だった。地球上においても陸上養殖が盛んになっていくと思うので、知見を得られてよかった。無重力での魚の挙動についても非常に興味深かった。
- 藻類のレベルでなく、魚自体を養殖する研究が進んでいるとは思っていなかったもので、かなり驚きました。日本人としては、是非積極的に研究を進めていただきたいと思います。
- 養殖は地球上であっても非常に重要な位置付けの研究であるので今後も成果を注視していきたいと思いました
- 食のバラエティを増やすことは大事かと思います。面白い講演でした。